

茨城ワーカーズ・コレクティブ協議会だより



Hello ♥ ワーコレ

発行：茨城ワーカーズ・コレクティブ協議会 <https://ibarakiwco.sakura.ne.jp/>
作成：デザインワーカーズピース <https://wcopeace.jpn.org/>

第27号
2024年3月



新しいワーカーズ・コレクティブが生まれました!



たすけあいワーカーズ・コレクティブ

はちどり



こんな「お手伝い」ができます!

家事全般・付き添い・子育て
入院・退院時のサポート
見守り・話し相手・草取り
ペットのお世話など

まずはお電話ください

TEL 090-7235-8843
(平日10:00~17:00)

自分たちが暮らす地域にも「たすけあいワーカーズがあつたらいいな!」とは思いながらも、なかなか一歩が踏み出せずにおりました。

この度、1年半の話し合いと数々の研修を経て、県央ブロックで10年ぶりとなる「たすけあいワーカーズ・コレクティブはちどり」を設立致しました!対象エリアは、ひたちなか市と東海村です。

私たち、たすけあいワーカーズは、日々の暮らしの中での困りごとをお手伝いし、社会保障や介護制度の隙間を埋められるような生活支援の事業を行います。

そして、生活クラブのエッコロのように、人と人がつながり合うことにより、お互いが支え合い、たすけあう関係を地域につくり、広げていきます。

メンバーは8人で、50代~70代と幅広く、介護や家族の世話、家事や仕事の傍らでという方がほとんどです。ワーカーズ設立に向けて何度も話し合い、皆の合意を得ながら一つひとつ決定してきました。このように、自分に合った働き方ができるのもワーカーズならではですね。

おたがいさまの気持ちを大切に、困った人に手を差し伸べられるたすけあいワーカーズを目指します。幸せを運ぶ青い鳥(はちどり)になれば嬉しいです。



全国会議に参加しました

ワーカーズ・コレクティブ(W.Co)の全国組織であるWNJ(ワーカーズ・コレクティブ・ネットワーク・ジャパン)では、W.Coの社会への発信と自分たちのエンパワーメントのために、2年に1度「全国会議」を行っています。今年度は埼玉の川越で、全体会と自主企画、6つの分科会が開催され、リアルとオンライン両方で約900名の参加がありました。内容を一部ご紹介します。

社会的連帯経済とは…

メインテーマの「社会的連帯経済」はとても難しい言葉ですが、「非営利・協同を重視する組織が利益優先の資本主義に対抗するオルタナティブな経済を志向する運動」ということです。

もっとわかりやすく言うと、「いろいろな団体とつながり合ってたすけあう経済」のことで、まさにワーカーズ・コレクティブが実践しているそのものです。



小江戸川越 鐘楼 時の鐘

2024年 1月20日(土) 21日(日) 22日(月)
第16回 ワーカーズ・コレクティブ 全国会議 in 埼玉
いのちと暮らしを守るあたたかな経済
ワーカーズ・コレクティブで広げよう
社会的連帯経済

開催会場 (オンライン併用開催)
ウエスタ川越 埼玉県川越市新宿町 1-17-17
西武新宿線「本川越駅」より徒歩15分
JR川越線・東武東上線「川越駅」西口より徒歩5分

参加費 全体会・分科会・自主企画
¥3,500 (配布資料・後日送付の報告集代金含む)

20日 全体会
13:00~16:00 ウエスタ川越 大ホール
第1部 基調講演: 藤井敦史さん
(第2部 コーディネーター) 立教大学コミュニティ福祉学部教授
社会的連帯経済の魅力と市民社会の役割
労働者協同組合時代のワーカーズ・コレクティブの使命と可能性
第2部 パネルディスカッション
埼玉から社会的連帯経済を発信
埼玉における連帯、連帯の実態を報告、課題を共有し、今後の全国的な社会的連帯経済実現に向けた展望につなげる
18:30~ 懇談会 (参加費 3500円)

21日 自主企画
10:00~12:00
第1企画 スペースの社会的連帯経済の活動を知ろう!
(一社) ワーカーズ・コレクティブが活躍する工房
第2企画 事業継続のために必要なことを改めて考える
〜産直ワーカーズ・コレクティブとして現場から感じたこと〜
産直ワーカーズ・コレクティブの活動
第3企画 ワーカーズ・コレクティブの起源経緯と
労働者協同組合について
(一社) 埼玉ワーカーズ・コレクティブ委員会

22日 分科会
13:30~16:00
第1分科会 子どもと共に歩み、
みんなでつくるあたたかい社会
第2分科会 地域とつながり食事業の拡大・継続をしよう!
第3分科会 「配る」を通して何を解決するのか!
(協同組合協同でつくる社会的連帯経済)
第4分科会 共に働いていね!〜フラットな働く場づくり〜
第5分科会 (GlobalSocialEconomyForum)
GSEFの報告から社会的連帯経済を学ぶ
第6分科会 労働者協同組合法施行1年
働き方や地域を自治する人を増やしよう

申込方法
所属組織へ申込みください

問い合わせ ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン 全国会議実行委員会事務局
Email: wnj_office@wnj.gr.jp 電話 045-662-4303

第1分科会に参加して

水戸たすけあいW.Co にじのえぶろん 小泉佐栄 福祉の分科会では、「子どもと共に歩み、みんなでつくるあたたかい社会」をテーマに子育て支援をしている団体の活動報告を聞きました。

コロナを機に、子どもたちの置かれている状況はさらに厳しいものになっています。子どもを家庭で育てるといった視点だけでは立ち行かなくなっており、「地域のみんで育てていく」という発想が必要です。そのためには、子どもがたくさんの人や団体と関わり合い、困った状況を話し解決に向かうことが大事です。具体的に、子ども食堂の先駆けである東京のNPO法人「豊島子どもWAKU-WAKUネットワーク」では、食に困っている子どもたちに子ども食堂、フードサポート(訪問型食料配付)、学習でつまずいている子には学習支援(無料)、遊びの支援としてプレーパーク、暮らしのサポートとして夜に泊まれる宿泊施設の提供や困りごと相談、赤ちゃんを抱えて不安な家庭には訪問支援、といくつものサポートのサービスを用意しています。そして、それらの事業は子どもを真ん中に据えて互いに連携し合っています。

他の3団体の事例紹介もとても興味深いものでした。4つの団体に共通するのは、「まず自分が楽しむこと」、「地域の他の団体とのつながりを大事にすること」です!

第3分科会に参加して

(企)W.Co はあもにい 栗田美奈子 第16回ワーカーズ・コレクティブ全国会議in 埼玉の第3分科会「配るを通して何を解決するのか」にオンラインで参加しました。

WNJの配達受託会議の話し合いの中で、どの配達ワーカーズも同じような課題を抱えているため、「生活クラブとも一緒に配達の今後について考えていこう!」という内容で分科会を企画しました。(詳細はHP参照)

生活クラブ連合会常務理事の安部さんから生活クラブがW.Coを生み出した背景と2つの異なる協同組合が1つの事業目的を推進することは、はじめての試みであること。持続可能な地域づくりへのチャレンジであること。社会的連帯経済の担い手としてワーカーズはますます必要になる。との基調講演をいただき、パネラーとして4人の方々から具体的にそれぞれの組織について伝えていただきました。

また、個配が導入されたばかりの長野単協のワーカーズの紹介もあり、とても勢いを感じました。

規模は違っていても生活クラブとワーカーズが共に歩んできた経過がとても茨城とも似ていたことに驚きましたが、異なる意見を話し合い、共に学び合えるワーカーズであり続けたいと想いを新たにしました。